

358. 抽象空間ノ測度ニ就イテ(續)

寺 阪 英 孝 (阪大)

コノ前ノ(*)結果ニヨリ、 Ω ノ Ω 集合 O ハ、*Inhalt* が任意ノ正数 ε ヲ小ナル *abzählbar* 個ノ Ω 集合ニヨツテ蔽ハレル、 $\varepsilon = \frac{1}{2}, \frac{1}{3}, \dots, \frac{1}{n}, \dots$ 、如ク取ツテ行ケバ O ノ各点 x ハイカホドデモ *Inhalt* ノ小テ Ω 集合デ蔽ハレテキルカラ、恰モ O ハ *separabel* デアルカ、ヨウニ見エル、然シ *Inhalt* が 0 ニ収斂シテモ *Umgebung* トシテソノ点ニ収斂シテエクトハ云ヘナイ故、以上ノコトカラ式デ直チニ *Separabel* デアルト即断出来ナイワケデア
ル。

(*) 第 79 号 352, IIノ條件ハ次ノヤウニ訂正ヲ要シマス。

II. $O \subset O_1 + \dots + O_n + \dots$ ナラバ (有限又ハ *abzählbar*)

$$m(O) \leq m(O_1) + \dots + m(O_n) + \dots, \quad \text{又定理 1ノ証明デ}$$

O_n ハ單ニ $O - (O_1 + \dots + O_{n-1})$ ガケダイイノデシタ。

若シ $I - \nabla$ の外 = 更 = 次ノ條件ヲ附加ヘルト, Separabel 其他ガ簡單 = 出ル。

VI. 任意ノ $x \in R$, x ヲ含ム Ω 集合 $O =$ 對シテ次ノ如キ $\varepsilon > 0$ ガ對應スル:

x ヲ含ミ Inhalt $< \varepsilon$ ナル Ω 集合ハ悉ク $O =$ 含マレル。

定理 3 $I - VI$ ナラバ O ハ separabel ナレル。即チ R ハ im Kleinen separabel.

(証) 定理 1ノ方法 = $\exists \forall O$ ヲ Inhalt $< \frac{1}{n}$ ナル abzählbar 個ノ Ω 集合ヲ數テ。(即チ O ヲソノトキノ証明ヲ有限個ノ $O_1, O_2, \dots, O_{N-1}, O'_1, O'_2, \dots$ 及ビ O_N^*, \dots ヲ蔽ヒ、各 Ω 集合ノ Inhalt $< \frac{1}{n}$ トシテ置テ) ($n=1, 2, \dots$) コノ Ω 集合ヲ $O_1, O_2, \dots, O_n, \dots$ トスル。若シ任意ノ $x \in O$ ヲ考ヘヌトキ、コレヲ含ム $\{O_n\}$ ノ Teilmenge $O_{n_1}, O_{n_2}, \dots, O_{n_\nu}, \dots$ ガ x ノ Umgebungssystem $\{U(x)\} = \text{äquivalent}$ ナレルコトガ合レバ、定理ノ証明サレタコト = ナル、サテ

(i) 各 O_{n_ν} ($\supset x$) ハ offen ナル故 $O_{n_\nu} \supset U(x) \supset x$ ナル Umgebung $U(x)$ ガ存在スル。

(ii) 次 = $\{O_n\}$ ノ性質カテ

$$(*) \lim_{\nu \rightarrow \infty} m(O_{n_\nu}) = 0$$

ハ明カ、サテ $U(x)$ ヲ任意ニトレバ $I = \exists \forall U(x) \supset O^* \supset x$ ナル如キ O^* ガ存在スル、 ε ヲ適當ニトレバ $\forall I = \exists \forall$

$O' \supset x$, $m(O') < \varepsilon$ なる凡て, $O' \subset O^*$ なる故, $(*) = \exists$ となる大なる $\nu =$ 就いては $O^* \supset O_{n_\nu}$, 即ち $U(x) \supset O_{n_\nu}$ —

定理 4 I—VI ならば R は *regulär* である。

(証) I—VI が満足する Ω 集合 $\subset R$, *Umgebungs-system* と考へられる故, 各 $O \supset x =$ 對して $O \supset \overline{O^*} \supset x$ なる如き O^* が存在するコトヲ云へばよい。

VI = \exists (O, x) から定まる $\varepsilon > 0$ がアツテ, x を含み *Inhalt* $< \varepsilon$ なる Ω 集合 $\subset R$ の悉く $O =$ 含まれる, O の *Rand* の $\nu = \exists$ *Inhalt* の総和が (從つて各 *Inhalt* $\leq \frac{\varepsilon}{k}$ なる如き Ω 集合 $O_1, O_2, \dots, O_n =$ ヲツテ蔽はれる。 $k = \frac{1}{\nu}$ なる ν が與へられる *常数* $\nu \geq 1$ と假定しておく。(コレハ *常* = 可能)

今 x を含み, *Inhalt* $< \frac{\varepsilon}{k}$ なる Ω 集合 O^* として, $\frac{\varepsilon}{k} \leq \varepsilon$ なる故 ε の性質から $O^* \subset O$, 又 $O^* \cdot O_i = O$ ($i = 1, \dots, n$) なるコトが成る。何者, $O^* \cdot O_i \neq O$ ならば $m(O^*) < \frac{\varepsilon}{k}$, $m(O_i) \leq \sum_{i=1}^n m(O_i) < \frac{\varepsilon}{k}$

ノコトから $\forall = \exists$ O^*, O_i 双方を含み *Inhalt* が $< \frac{\varepsilon}{k} = \varepsilon$ なる Ω 集合 O' が存在するコトナリ, コレハ x を含んで *Inhalt* $< \varepsilon$ なる Ω 集合が $\subset O$ なるコト, 性質 = 反する。

從つて $O^* \cdot \left(\sum_{i=1}^n O_i \right) = O$ 故に $\overline{O^*} \subset O$ —

定理3,4カラ

定理5 I—VI ナル R が更 = abzählbar 個ノ Ω 集合ヲ蔽ヘルナラバ, R ハ metrisierbar デアル。

附記: 先日近藤氏カラ metrischer Raum R が endliches Maßヲモツナラバ R ハ separabel デアル、トイフコトヲ考ヘテ頂キマシタガ、以上ハソノ逆、モウニナツテ居リマス。I—VIノ条件ハモツト減ラセルモノデアセウカ。